

H26 マヒドン大学短期語学留学

評価・報告

参加者15名、回答数15名

5:とても良かった 4:良かった 3:どちらともいえない 2:良くなかった 1:全く良くなかった

■ プログラム全体について

評価	5	4	3	2	1
回答数	14	1			

<感想>

- 本当に素晴らしいプログラムでした。東南アジアの大学に留学して、現地の同世代の学生と交流することは、高校時代からの私の目標であり、今回こうして希望が叶ったことに喜びを感じています。
- 大きな期待を抱いてのぞんだ今回のプログラムでしたが、プログラムは当初の期待を大きく超える内容でした。特に、最先端のサラヤ・キャンパスの設備や、優秀なマヒドン大学の学生、現代的なバンコクの市街地の姿は、従来私がタイに対して抱いていた「発展途上国」のイメージを覆すものであり、タイに対する見方が変わりました。
- 最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった九州大学・マヒドン大学の関係者の皆様に御礼申し上げます。有難うございました。
- 本当にこのプログラムに参加してよかったと思います。毎日がとても充実していました。このプログラムでは、普通の旅行では味わえないようなことをたくさん体験することができました。この二週間を通して最もよかったと思うことは、タイの学生とたくさん交流できたことです。この二週間で出会ったタイの学生とは今後も繋がりを保っていきたいと思います。本当に素敵な、忘れられない二週間になりました。
- チューターの方をはじめとする現地の方のサポートのおかげであまり不自由することなく楽しく過ごせました。
- 2週間という短い期間だったが、これ以上詰めることができないほどにスケジュールが組まれており、想像以上にタイにどっぷりと浸かることができた。タイについて学べるだけでなく新しい友達が多くできたことも、普通にタイに観光に行くだけでは得られない経験だと思う。タイの学生やスタッフの方々は常に私たちに付き添ってくださり、非常に感謝している。本当に、何回でも参加したいと思えるプログラムであった。
- 非常に良い経験になりました。タイ語の勉強だけでなく、Field Visit、ダンスや料理の授業を通して、タイの言語や文化について理解を深めることができました。このプログラムには様々な体験が含まれており、どれも私たちが楽しめるように考えられたプログラムであったので、充実した2週間でタイで過ごすことができたと思います。
- 毎日が本当に充実しており、忘れることのできない大事な経験となりました。タイ語を勉強することが出来、基礎を身につけることが出来たことはもちろん大きな収穫ですが、それ以上に最高の仲間やマヒドン大学のチューターに出会えたことが私の最大の収穫で

す。この2週間を通して集団の中で生きることやグループワークの難しさや楽しさを知り、何より人の温かさをたくさん知ることが出来ました。タイのような英語すら通じないこともある国で私が充実した日々を送ることが出来たのはタイ人のやさしさのおかげだと思っています。本当にこのプログラムに参加出来て良かったです。

- ・このプログラムは授業やその他のプログラム全てがとても充実していた。また、タイのチューターなどをしてくれた人たちと、この研修が終わってからほぼ毎日連絡をとるほど仲良くなれたことが嬉しかった。
- ・私は今回のプログラムで初めて海外に行ったが、自分の今後の生き方を考えさせる経験になった。タイの学生はとても親切にしてくれ国籍を超えた人とのつながりを感じた。個人的にタイでの生活の中で誕生日を迎えたが、みんなが祝ってくれて一生思い出になる誕生日になった。タイでの2週間は一生忘れられない貴重な経験になった。
- ・タイの学生たちが常に付いてくれたおかげで、有名所から穴場まで、様々な場所に効率よく訪れることが出来たし、研修地やレストランなどでの現地の人とのコミュニケーションでも困ることはなく、とても充実した研修を行うことが出来た。タイを満喫した、とても密度の濃い2週間を過ごすことが出来たと思う。
- ・とてもいい経験をさせていただいたと感じている。いつも当たり前だと思っていた日本での日常とはどうほかの国と違うのか、タイに行ってみて自分の肌で感じることができた。
- ・プログラム全体としてとても充実していると思いました。タイを訪れる前の集中講義ではタイ語だけでなくタイの料理を作ったりマヒドン大の学生と交流したりしてタイについての理解を深めることができました。現地に行ってから、毎日暇になる時間がないくらいいろいろなところを訪れたりマヒドン大の学生と活動したりしました。また、プレゼンをすることも多くあり、良い練習の機会となりました。
- ・タイの学生には毎日お世話になりました。タイ文字も読めない私たちにとって自分たちで学食でご飯を注文するだけでも一苦労だったので、チューターの存在はとても大きかったです。ただ、日本人が多すぎたので集団行動にいろいろと問題があったり、気づけば日本人ばかりと行動していたりするようなこともありました。集団行動の大切さと積極性を学んだ2週間でした。タイは行く前の予想やと比べると平和で政治状態が悪いという印象も見受けられず、バンコク中心部や大学内は比較的きれいでした。物価は安いところは安かったが、観光名所やデパートでは日本と同じくらいの値段でした。タイは自動車やお菓子など日本企業のもものがたくさんあって、店員さんもとても優しく、国全体的に親日の印象が見受けられてとてもうれしかったです。お世話になったタイの学生たちとはこれからも連絡を取り続けて、またタイに遊びに行こうと思います。
- ・単なる遊びにならないように、身に付けたタイ語で積極的にコミュニケーションを図るあるいはタイの政情や宗教についてマヒドンの学生と意見を交わすことが出来、とても有意義なものにすることが出来た。初めての海外ではなかったが、語学力が不足しているしなにより自分の国に対して説明する言葉を持たない自分が情けなく勉強不足を痛感させられた。本当に日本とタイの双方の良き仲間に恵まれた。
- ・全体的にややハードスケジュールでしたが、スケジュールが詰まっていたからこそ充実したプログラムになったのかもしれないと思います。私は集中講義の週に、講義以外にも予定を入れてしまい、バタバタしたため体調を崩しましたが、自分の教養を深められる、本当にいいこと尽くしのプログラムでした。
- ・全体的にややハードスケジュールでしたが、スケジュールが詰まっていたからこそ充実したプログラムになったのかもしれないと思います。私は集中講義の週に、講義以外にも予定を入れてしまい、バタバタしたため体調を崩しましたが、自分の教養を深められ

る、本当にいいこと尽くしのプログラムでした。

- ・僕は元々タイに興味があり、今回のプログラムに参加しましたが、現地でしか経験できないことを数多く経験できたと思います。中でも、タイという国の国民性が非常に社交的、親好的でとても良い印象でした。しかしその一方で市街から少し郊外に出るとまだまだ治安面で問題がある地域があることも事実でした。

■ タイ語の授業全体

評価	5	4	3	2	1
回答数	9	6			

<感想>

- ・すぐに使うことのできる表現の練習を中心とした授業であり、授業で習った表現をタイの学生とのコミュニケーションに使うことができ、嬉しかったです。
- ・日本語が堪能なネイティブの先生による授業は非常にわかりやすかったですし、授業中に何度も繰り返し練習したので、身につけやすかったです。タイ語を使う機会は今後それほど多くないと思いますが、他の言語を将来的に学ぶうえで、とても参考になる授業でした。
- ・ただし、現地では全体的に多忙であり、授業の復習を満足にする時間がないのが残念でした。授業中に復習を兼ねた練習があったものの、自分が身につけていない部分を重点的に復習することはできず、できない部分がそのままになってしまった感があります。1日3時間の授業は、各自で自習することも考えたら、やや長すぎたのではないかと思います。
- ・タイでの生活で実際に使えるような会話の表現をたくさん教わりました。先生は一人ひとりの発音をチェックしてくださったり、質問にも丁寧に答えてくださったりしたので、とても助かりました。
- ・自分の番が回ってくるまでは少し退屈でしたが反復のおかげでかなり身につきました。
- ・先生方の授業は非常に分かりやすく、また内容も無理のない進捗であり、現地で使える表現ばかりでとてもよかったです。しかし、タイにまで行って授業を受けるので、もし時間があるのであればタイの学生も一緒に授業に参加して私たちも日本語を教えながら交流するようなものであってもよかったと思う。
- ・日本語が話せるタイ人の先生による授業はとてもわかりやすく、タイ語を理解して基礎的な表現を理解できるようになりました。Uraiporn 先生と Jubjang 先生には本当にお世話になりました。
- ・初心者でもわかりやすい授業で大変良かったです。講義前は本当に3週間でタイ語が身に付くか本当に心配でしたが、楽しく学習することが出来、また授業の中の反復練習を通して必要最低限の知識を身につけることが出来たと思います。進度も内容も初めてタイ語を勉強する人にはちょうどよいものだったと思います。
- ・タイに行く前に、日本で一週間講義を受けたことが良かった。タイでタイ語を何も知らない状態から始めたら、気持ち的にもあまり余裕がなく、あまり身に付かなかっただろう。授業自体は、とても分かりやすかったし、所々でタイの文化や宗教の話はタイ人の

先生から聞けるのがとても興味深かった。

- 短い時間の中で学べる量には限りがあるためタイで実際に使える単語・文を中心に学べたことはよかったと思う。ただ先生と日本人の生徒だけでの交流しかなかったのが少し残念だった。
- タイの先生方にとっても熱心に教えて頂いたおかげで、実践的なタイ語を学ぶことが出来た。クラスの雰囲気も良く、楽しく授業を受けることが出来た。少しでもタイ語を喋れるようになり、タイの人前で喋ると、とても喜んでもらえるので、タイ語の学習は真面目にやっておいて損はないと思います。
- 普段触れることのない、タイ語は日本語とは文法的にも発音も全く違っていて、難しくもあり、非常に興味深くもあった。
- タイ語の授業は日本で1週間、タイで2週間行われました。3時間続けての授業だったので集中が途切れそうになりましたが、濃い授業を受けることができました。講師はタイ人の方だったのですが、日本語も上手で優しく詳しく教えてくださいました。授業の内容はタイ語のスピーキングが主で、少しタイの文字や文化について学ぶという感じでした。やはり短い期間であったので多くの単語を覚えるなど苦労する場面もありましたが、力をついたと思います。
- 私は最初タイ文字を学べると思ってこのプログラムに応募したので、タイ文字が学べなかったのは残念だったが、タイ文字はとても難しそうなので2週間の研修で覚えることは難しいと思った。タイでのタイ語の授業は、先生が生徒一人ひとりに聞かせいで、ほかの14人が待たなければならず、少し退屈した時もあった。しかし先生はとても優しい人だったので2週間真剣に授業を受けることができたと思う。
- 先生に本当恵まれたと思う。3時間という講義時間は、最初は長く感じることもあったがグループ学習を多く取り入れていただいたし、発言の場を多く与えていただいたので退屈することがなかった。日本での学びを発展させることも出来たので十分満足している。
- 先生方が、タイで役に立つ表現を中心に教えて下さり、実際にタイ人とのコミュニケーションで大変役に立ちました。文法などではなく、会話で学べ、何度もロールプレイの場を設けてくださったのが良かったです。言語が中心でしたが、授業の合間に、タイ料理や文化を教えて下さったのもありがたかったです。
- 先生方が、タイで役に立つ表現を中心に教えて下さり、実際にタイ人とのコミュニケーションで大変役に立ちました。文法などではなく、会話で学べ、何度もロールプレイの場を設けてくださったのが良かったです。言語が中心でしたが、授業の合間に、タイ料理や文化を教えて下さったのもありがたかったです。
- 自分にとって全く新しい言語であるタイ語を学べたことはとてもいい刺激になりました。二週間という短い期間である難解な文字の習得は厳しいものだったので、これから少しずつ文字の理解をしていきたいと思います。

■Field Visit 全体

評価	5	4	3	2	1
回答数	14	1			

<感想>

- 中心部の **wat** が圧巻だった。ワット・プラケーオ、ワット・ポー、ワット・アルンのいずれも第一級の寺院であり、素晴らしかったです。日本の寺院とは違う派手な色使いや建築様式に異文化を感じました。丸一日あったとはいえ、とても全ては見きれないぐらい見どころが多く、充実していました。
- **Siam Museum** が良かったです。特に、タイの近代の文化に関する展示が興味深かったです。
- **Field Visit** に行くたびに、英問英答の課題プリントが出ましたが、他にやることが沢山あるなかで、現地を取り組まなければいけないことに疑問を感じました。設問も現地ですることとは必ずしも関係がなく、結局ネットで調べて解答することが多かったのです。また、ただでさえ忙しい最終プレゼンの前日に、今まで配り損なっていた課題プリントが4枚ほどまとめて配られたのは腹立たしかったです。課題プリントがあると学ぶ動機にはなるため、プリントの存在自体はよいと思いますが、配布のタイミングを **Field Visit** の前にしたり、提出期限を日本帰国後にしたりするなど、改善が必要だと思います。
- いろいろな場所に行くことができ、充実していました。寺院や国立博物館ではガイドの方もついており、ただ観光するだけではなく、タイの文化や歴史について知ることができてよかったです。
- サイアム博物館がとてもよかったです。アユタヤもよかったですけどもっと近くで見えなかったです。ワットポーなどのお寺は暑さのためにじっくり見る余裕がありませんでした。暑さ対策をすればよかったですと後悔しています。
- タイを訪れるなら行っておきたい場所にくまなく行けたと思う。それぞれの場所でガイドによる説明もあり、見てまわるだけでは分からないことまで理解できてよかったです。服装も前日にタイの学生に聞くことで特に不自由なかったと思う。1日で3つの寺院を巡ったのは暑いだけに体力的にきつかったが、それでもすばらしい経験ができたと思う。
- タイの有名な寺院や博物館に行くことができ、本当に良かったです。多くの寺院や博物館では、英語が話せるガイドの方の案内により、タイについての理解が深まりました。また、**Field Visit** では交換留学生ではないマヒドン大学の学生とも話すことができ、楽しい時間を過ごすことができました。
- どの場所も本当に良かったです。2週間でタイのことをたくさん知ることが出来て良かったと思います。特にワットめぐりは凄く心に残りました。タイのお寺の壮大さに触れることが出来、またタイ人の仏教に対峙してする姿勢を見ることも出来たので良かったです。一番好きだったのはワットアルンで、塔のつくりや建物の構造も素敵で何より急こう配な階段が印象的でした。高所恐怖症の為、足もすくみましたが最上階からの眺めは素晴らしかったです。どの場所も良かったですがあえて言うならばジムトンプソンハウスは行かなくても良かったかなと思いました。
- かなりのハードスケジュールだったが、行きたいところや観光名所などのほとんどを2週間でまわって満足している。しかし、ハードすぎて体調を崩す人も何人かいたので、もう少し余裕のあるスケジュールにしたほうが良いと思う。
- タイで有名などころを一通り回れたのはよかったですと思う。予定がぎっしり詰まっていたが大変だったがとても楽しく充実していた。
- 有名な所だけでなく、現地の人しか知らないような、穴場スポットにもたびたび行くことが出来たことが個人的にはとても楽しかったです。
- タイの学生や先生方がとても親切でタイの歴史ある建物などをたくさん見られた。特に私はワット・アルンの急な階段を上ったことがこわくもあり、楽しくもありで一番心に

残った。

- ・タイの王宮やエメラルド寺院などタイの主要な寺院を訪れることができ、良い経験になりました。特にワット・ポーの巨大な涅槃仏を見た時には圧倒されました。また、アユタヤも訪れました。アユタヤでは象に乗って遺跡めぐりをしました。その体験自体はよかったです。料金を高くだまし取られてしまったのが残念でした。しかしマヒドン大の学生がきちんと交渉してくれ、本当に助かりました。
- ・三大寺院を訪問することができてよかった。特によかったのはワットアルンで、実際に登れて、芸術を間近で見られたのでよかった。**Siam Museum** は写真がたくさん撮れて楽しかったが、思ったより勉強できたわけではなかったのが残念だった。
- ・ワットポーやワットプラケーオを見た時にはその迫力に感動した。自分は特に仏像や仏塔に興味があるというわけではないが、まさに”百聞は一見に如かず”を体感させられた。ガイドさんの英語の訛りが強すぎて聞き取りにくかったのが残念だった。
- ・一度観光でタイを訪れ、有名な観光所には行ったことがあった自分としては、サイアムミュージアムが印象に残っています。歴史好きの私には、ついつい見入ってしまう展示物ばかりでした。もちろん、歴史にあまり興味がない人も、再現されたセットで写真をとるなどして大いに楽しんでいました。
- ・一度観光でタイを訪れ、有名な観光所には行ったことがあった自分としては、サイアムミュージアムが印象に残っています。歴史好きの私には、ついつい見入ってしまう展示物ばかりでした。もちろん、歴史にあまり興味がない人も、再現されたセットで写真をとるなどして大いに楽しんでいました。
- ・僕が一番印象深かったのは、タイ国民の生活や文化についての展示がされてあったサイアムミュージアムでした。日本と比較しながら見学するのが非常に楽しかったです。

■ Field Visit 以外の課外活動（料理、ダンスなど）

評価	5	4	3	2	1
回答数	10	5			

<感想>

- ・ **Cooking Class** は、大学内のホテルにおいてプロのシェフに囲まれながら料理を作る本格的なものであり、非常に充実していました。また、事前にタイの食文化に関する講義があったので勉強になりました。
- ・ **Campus Tour** が良かったです。日本の大学とは比較にならないほど充実したキャンパスの設備には衝撃を受けました。大学間のプログラムならではの魅力的な企画だと思います。
- ・ **Thai Dancing Class** は難しすぎた感がありましたが、タイの伝統文化に触れることができたという点では良かったと思います。タイの学生が、ある程度ダンスを習得していたことには感心しました。
- ・ **Cultural Demonstration** ではお菓子を作りましたが、それほど本格的なお菓子ではなかったうえ、他人が作業するのを見ているだけの時間が非常に長く、やや退屈でした。
- ・ タイ料理の授業がとても良かったです。自分たちが作った料理を、マヒドンの学生たち

が「おいしい」と言いながら食べてくれたのが嬉しかったです。日本でタイ料理を作る機会はなかなかないので、いい経験になりました。

- ・料理は下ごしらえが先にすんでいたのがかなり物足りなかったです。ダンスは簡単な物だったのである程度できるようになりました。
- ・あんなに多くの種類のタイ料理をシェフに教えてもらいながら作ることができたのはすばらしい経験だった。時間があるのならタイの学生にももっと参加してもらい一緒に作りたかった。ダンスに関しても、普通にタイを観光で訪れるだけでは、実際に体験しないだろうし、手取り足取り教えてもらえるというのはこのプログラムならではであると思う。
- ・クッキングクラスではタイ料理を作りましたが、シェフのアシストを楽しむことができました。また、その後の夕食では、自分たちが作ったタイ料理をおいしくいただくことができました。ダンスクラスでは、タイ伝統の踊りを音楽に合わせて踊ることができ、日本の盆踊りなどのダンスとは違った体験ができて良かったです。
- ・タイの文化に触れることが出来て良かったです。タイダンスは思った以上に難しく貴重な経験になりました。またタイ料理作りは本当に良かったです。普段食べているタイ料理の作り方を知ることが出来、そしてみんなで作ったものを美味しく食べることが出来て良かったです。タイのお菓子作りの体験はなくても良かったかなと感じました。
- ・マヒドン大学が様々なプログラムを用意してくれていて、とても楽しかったし貴重な経験が出来た。個人的には、タイダンスが初めての経験で、タイらしくてとても好きだった。しかし、カルテュアル・デモンストレーションという大学内でのお菓子づくりは、料理と似ており、内容も濃いものではなかったのも、いらないと思う。
- ・タイ人と交流しながらタイの文化を学べてよかったと思う。ただお菓子作りが微妙だった。
- ・タイの学生やスタッフの方がいつもフォローしてくれていたこともあり、楽しく活動を行うことが出来た。また、活動内容も、タイの伝統的な文化に触れることが出来る素晴らしいものだった。
- ・辛いものは苦手はずだったのに、みんなで料理を作ってみて、それを食べて、辛い物の良さに気付けた気がする。おいしかった！
- ・課外活動で一番印象に残ったのはタイ料理体験です。実際のシェフの方と一緒にグリーンカレーやトムヤムクンなどを作りました。本格的な体験ができて良かったです。タイダンスもタイの伝統的な衣装を着てマヒドン大の学生と一緒に踊り、良い時間を過ごせました。このような活動を通じて、タイの身近な文化を知ることができました。マヒドン大の学生との交流も深めることができました。
- ・タイ文化体験では、料理と伝統菓子の体験が二つに分かれていて同じような体験だったのが残念だった。タイダンスは難しかったがとても面白かった。タイ料理体験ではマヒドン大学内のホテルの厨房を使わせてもらい、シェフの方に教えてもらうことができたのでとても楽しかった。マヒドン大学の巨大さを実感した。
- ・ディナーは素晴らしかったが、おやつのはつらさは悶絶した。作ることは本当に楽しかったのだが、あの甘さはつらかった。ダンスは不器用にもかかわらず丁寧に教えていただき、改めてタイの方のやさしさを感じた。
- ・どれも素敵で貴重な体験でした。全てが、留学生として行ったからこそ出来る初めての体験で、自分のタイに関する教養を大いに広げることができました。
- ・料理、特にお菓子は、あまり日本人の口に合わないのではないかと思ったのが正直など

ころです。

■ プログラム外でのタイでの生活、寮での生活

評価	5	4	3	2	1
回答数	9	5	1		

<感想>

- ・プログラム以外の現地での生活についても、チューターの学生が一日中ついてまわってくれたことで、非常に充実していました。毎日のレストランや出店での食事、タクシーやトラムでの移動はタイ人のチューターがいたからこそできたことであり、二週間にわたって献身的に活動してくれたチューターには感謝しています。
- ・休日にはチューターとアユタヤに行きましたが、バンパイン宮殿や象乗り時間に時間をとられ、世界遺産に登録されている遺跡は全くといってよいほど見ることはできませんでした。アユタヤ観光は楽しかったのですが、世界遺産を訪問できなかったのはやや残念でした。教育プログラムであることも考えれば、平日にプログラムの一環としてアユタヤの世界遺産に行くことができればベターだと思います。
- ・ドミトリーは広々とした最新のものであり、総じて良かったです。細かい部分では問題点がいくつかありました。
 - 1、ドミトリーのエレベーターに乗るためのカードキーが二人に一人しか与えられていなかったのは非常に不便でした。洗濯に行くときや、wifi を使うために1階へ行くとき、運動をしに行くときなどにカードキーが必要であり、その度にルームメイトとカードキーをめぐって調整しなければいけないのは腹立たしかったです。
 - 2、ベッドのうえに分厚い毛布しかなかったのが不便でした。毛布を使うには暑すぎ、温度調整が難しかったです。自分で薄い毛布を買いに行ければ良かったのですが、デパートが遠く、不可能でした。
 - 3、Wifi が自室で使えなかったのは不便でした。九大生が滞在した8部屋のうち、Wifi が使えたのは2部屋だけであり、プレゼンテーションの準備や調べ物をするうえで不便でした。また、部屋には有線LANがありましたが、それによって閲覧できるページは、なぜかGmail などのごく一部に限られており、ほとんど役に立ちませんでした。ちなみに、Wifi を使うべく1階のロビーに降りて作業したこともありましたが、ロビーでは22時以降はエアコンが切れるため、非常に暑かったです。
- ・朝から晩まで、いつもマヒドンの学生がサポートしてくれてとても有難かったです。寮では、部屋によってWi-Fi が使えなかったり、シャワーが止まったりというハプニングもあったけど、それ以外は困ったこともなく快適な生活を送ることができました。
- ・タイの料理は大半が辛くて最初は苦労しましたが辛いものを探して食べるととてもおいしかった。スモージーやフルーツはどこの場所で食べてもおいしかったです。ただ、チューターなしでタクシーに乗らなければならない人たちがいて、そのとき怖い思いをしたらしいので、また、大学の食堂でほしいものを注文したくてもタイ語のみで英語が通じず困ったので、チューターの方にはできるだけ一緒にいてほしいとおもいました。
- ・プログラム外の時間もタイのチューターがつきっきりでお世話をしてくださり、屋台で夜ご飯を食べたり、デパートや露店で買い物をしたり、マッサージに行ったりとこちらが望んだことがすべてできたという感じでした。チューターの方々には感謝が尽きませ

ん。大学の寮はセキュリティがしっかりしており、設備も整っていました。ただ、Wi-Fiが使える部屋と使えない部屋がありその点が唯一の難点でした。

- ・マヒドン大学の学生と卒業生の方が私たちを朝早くから夜までサポートしてくださって本当に助かりました。彼らのサポートなしでは充実した2週間を送ることは難しかったと思います。寮での生活は、寮がきれいだったこともあり、快適な2週間を送ることができました。私が泊まった部屋を含めて、多くの部屋ではWi-Fiの電波が届かず、不便だと思いましたが、大学内の多くの場所でWi-Fiが利用できたのは助かりました。
- ・本当に楽しく充実していました。毎日15人全員とタイ人で夕食を食べに行き、いろんな話をして、デザートを食べた。また大学生にもなって荷物持ちをしたり。本当に楽しい時間をタイ人のおかげで過ごすことが出来たと思います。寮での生活は部屋でWi-Fiが使えなかったのは不便でしたが、そのおかげでみんながWi-Fiの使える部屋に集まるようになって寮でもみんなと多くの時間を過ごせたことは良かったと思います。
- ・寮はホテル並のきれいさだったが、Wi-Fiが一部の部屋にしか繋がらなかったことと、シャワーの水圧がとても弱くて使いにくかったことが残念だ。プログラム外での生活は、タイのチューターがとてもよくしてくれたので、充実した時を過ごせた。
- ・マヒドン大学のサポート体制がしっかりしていて大きな問題なくプログラムを終えることができた。
- ・大学、寮共に、セキュリティは万全であるし、設備も何も言うことがないくらい素晴らしかった。ただ、寮の部屋で、Wi-Fiが繋がる部屋と繋がらない部屋があったので、そこだけ改善して欲しいと思います。
- ・とてもきれいなところで住みやすさはあったが、Wi-Fiのつながりが悪く、毛布が二人で一枚はつらかった。
- ・タイでの生活は様々なところが日本と違い、刺激的でした。特に日本との違いを感じたのは食事でした。タイの料理はどれも基本的に辛く、またデザートは基本的に甘さ強めでした。しかしおいしいのでたくさん食べていたら、おなかを壊しました。友人に正露丸を借りて何とか事なきを得ましたが、食べすぎと辛い物には気を付けようと思いました。タイでの交通手段は主にタクシーでした。値段はそれほど高くなかったのですが、運転手によっては遠回りしたりチップを要求したりするので注意が必要でした。
- ・寮ではWi-fiがつながる部屋が2つだけで、いつもみんながつながる部屋に集まっていた。私の部屋は2人部屋でダブルベッドだったのでとてもびっくりした。2週間ダブルベッドで過ごした。そして、何人かダニのような虫に足を刺されたりした。蚊に刺されることはあまりなかったが、ダニは部屋で刺されたようなので結構大変だった。
- ・一度タクシーに日本人だけで乗る機会があったが、大学の寮まで帰るのに通ったことのない道を通って遠回りさせられたり、お金を多くとられたりして少し怖い思いをしたこともあったがよい思い出になった。
- ・特に問題はなかったが、部屋に清掃用具があればと思った。
- ・タイ人の学生が、買い物やマッサージ、ニューハーフショー、カラオケ、日本料理店など、私たちのしたいことをいつも聞き取り、いやな顔一つせずどこにでも連れて行ってくれました。いつも私たちの安全のために気を張って疲れているだろうに、最後まで付き添ってくれた彼らへの感謝の気持ちでいっぱいです。お蔭でしたいことは全部やりきって帰国できました。彼ら無しでは、こんなに充実した研修はあり得なかったと思います。本当にありがとうございました。
- ・タイではマヒドン大学の学生の皆さんが本当に親切で、何不自由なく生活できました。非常に過ごしやすく充実していました。

■ 語学研修の実施時期・期間

評価	5	4	3	2	1
回答数	11	3	1		

<感想>

- ・良かったと思います。夏休み前半の期間だったことで休業期間中の計画は立てやすかったですし、集中講義を含めて 3 週間という期間は集中して取り組み、一定の成果を出すのにちょうど良い期間だったと感じます。
- ・二週間という期間はちょうどよかったと思います。プログラムの実施時期も丁度いい時期だったと思います。
- ・日本と同じくらいの暑さで耐えきれないということもなく、また、連日忙しく体力的な限度としてもちょうどいい長さだったと思います。
- ・実施時期は夏休み中盤でありちょうどよかった。期間としては、短期間に詰め込みすぎて最後のほうで疲れもあったので、あと何日か長くてもよかったと思うが、これ以上タイのチューターの方々にお世話してもらうのも悪いので 2 週間がちょうどいいと思う。
- ・実施時期、期間ともに妥当だったと思います。2 週間で、基礎のタイ語は習得できました。ただ、2 週間ではタイ語の習得には限界があると感じ、実際に使うことは難しいと思いました。
- ・かなり詰め込んでありましたが適切な期間だったと思います。2 週間という中に本当に多くのことが盛り込まれていたため自由な時間がほとんどなく最後の数日は肉体的にかなり堪えるものもありました。研修に行ったので多くのことを短期間で学ぶことが出来たことは本当に良かったと思いますがもう少しゆっくりする、体を休める時間が欲しかったです。
- ・日本とタイでタイ語を学べたことがとてもよかったと思う。実施時期も夏休みのお盆あけで時間が取りやすかった。
- ・時期に関しては文句なし。期間は適切だと思うがもう少しあってほしいと思えるくらい充実していた。
- ・実施時期は、とても考えられており、良かった。ただ、実施期間の 2 週間が少々短いと個人的には思うので、もう少し長くしてほしいと思った。
- ・長さ的には習得するのは不可能であったが、タイ語に触れるということであれば、十分な長さであったと思う。
- ・時期としてはタイで雨季にあたるときに現地を訪れたのですが、我慢できないほどの暑さはなく、雨で動けない日もほとんどなかったので時期としては悪くなかったと思います。またマヒドン大の夏休みと重なっており、多くの活動を共にできたのが良かったです。2 週間という期間も終わってみれば早かったですが、密度の濃い 2 週間だったので、長く充実しているように感じました。
- ・スクールがあるので少し大変だったが、MUIC の学生が夏休みということもあって比較的関わってくれたのでよかったと思う。

- ・座学の時間は長かったように感じた。時々先生の日本語が分からないこともあったが、とても丁寧に面倒を見ていただいた。日本に帰った後もタイ語の勉強方法などについて教えていただき感謝している。
- ・時期も期間も調度良かったと思います。タイは雨季で、多少雨は降りましたが、日本とは違う気候を楽しめましたし、タイの夏など、日本人には暑すぎて耐えられず、楽しみも半減してしまっていたと思います。期間も、短すぎず長すぎず、ちょうど良かったと思います。アルバイトをあまり休めないけど、留学してみたい、という人に、2週間はぎりぎり許される期間だったと思います。
- ・二週間という期間ではあまり語学を習得出来た実感はないので、もう少し長期間現地で研修したかったです。時期に関しては、夏休みのあまり目的のない生活を送りがちな時期を利用して行けるこのプログラムは非常に良いと思います。

■集中講義を受講した上で語学研修に参加したこと

評価	5	4	3	2	1
回答数	14	1			

<感想>

- ・とても良かったと思います。最低限の言語・文化を日本で学んでから現地に行ったことで、何も学ばないで行くこと場合よりも、有意義に過ごすことができたと思います。集中講義の先生の解説もわかりやすかったです。
- ・タイ語での自己紹介を習っていたので、タイに来てからその自己紹介が役立ってよかったです。また、集中講義では、タイ語だけでなくタイの文化や歴史についても学べたので、タイについての予備知識を身に付けることができました。
- ・タイのことについて事前に少しでも学んでおけたことで現地のビジョンができやすくなったので良かったと思います。
- ・九大で集中講義を受けたことによりあいさつや自己紹介程度はできるようになり、タイに行くとすぐからそれらの表現が使えるようになったと思う。また、タイに行く日本人同士のつながりも行く前からできて、その点でも良かったと思う。
- ・あらかじめ集中講義を受けたことで、タイでの研修をスムーズに始めることができたと思います。タイでの講義の最初に、自己紹介をタイ語でできたことはうれしかったです。
- ・タイに行って、一からタイ語を勉強し始めても何も残らなかったと思います。日本で数字や挨拶、料理などの最低限のことを学習していたからこそタイでより深い授業を受けることが出来、帰るころにはある程度のタイ語を身につけることが出来たと思います。
- ・集中講義を受講したことで、語学研修がとても充実したものになった。また、集中講義でも、日本人ではなくタイ人が教えてくれたことがとても良かった。
- ・集中講義がないと自己紹介もできないので絶対に必要だった。ただプレゼンなどの準備がありものすごく忙しかった。
- ・研修中の2週間だけだと初歩的なタイ語を学ぶにしてもあまりにも短すぎるので、事前の集中講義は不可欠だと思う。また、集中講義で事前にタイの伝統文化や食文化を予習しておいたことは、実際にタイに行った時とても役に立った。

- ・現地の民間人には英語がほとんど伝わらなかったため、行く前に簡単な単語を覚えていけば、タイで意思疎通が少しははかれるので良いと思う。
- ・集中講義で学んだタイ語は1週間という短い期間だったので現地ではほとんど使えませんでした。それでもタイの学生と会話をする際に少し使うなどして交流を深めるという点では役に立ったと思います。またタイの文化についての紹介も集中講義中にあったのですが、実際に訪れる寺院の歴史的背景であったり、タイの日常生活についての説明があったりして、現地研修の良い下準備になったと思います。
- ・タイに行く前に多少の語学やタイの文化を学ぶことができたので、安心してタイに行くことができた。集中講義は受講してよかった。
- ・集中講義で身に付けたタイ語を駆使して、実際に現地の人とコミュニケーションを取るのには本当に楽しかった。発音が難しくなかなかなか通じないこともあったが、自信になった。
- ・大変良かったと思います。実際に現地で使うことが出来ました。
- ・集中講義で受けた簡単な挨拶や、簡単な文法などは現地でも使えるところが有り、有意義だったとおもいます。

■その他

(日常生活や研修に参加して考えたこと、改善事項や要望事項など)

- ・総じて素晴らしいプログラムでしたが、タイでの私達九大生に対するもてなしと、日本でのマヒドン大学の学生に対するもてなしに大きな格差が存在したのは、交流プログラムとして問題ではないかと感じました。もっとも、私自身は、マヒドン大で好待遇を受けましたので、全く不満はないです。ただ、タイに行く前に日本でマヒドン大生のチューターをした経験も踏まえると、以下のような点について、九大側による待遇がマヒドン側の待遇を（主観的な見方ではありますが）下回ったように見えることは、マヒドン大の学生には申し訳なかったのではないかと考えてなりません。

1、チューターによるサポート

マヒドン大生のチューターの多くは、新学期が始まったばかりにもかかわらず、まさに朝から晩まで私達の面倒を見てくれました。また、Field Visit には、チューター以外にも多くのマヒドン生が参加しており、彼らにもお世話になりました。

それに対し、日本側のチューター態勢はお盆期間中という悪条件があったとはいえ、あまりに悪かったと思います。例えば、マヒドン大生とのスタディ・トリップに参加するチューターはいつも数人でしたし、平日の夕食はタイ人だけで食べさせることが多かったです。また、とりわけ大学のない週末のチューター体制は深刻で、博多や福岡タワーにタイの学生を連れていくのにあたって、私ともう一人か二人しか日本人が同行しない状態でした。幸い、大きなトラブル等は生じず、マヒドン大生もお盆ということでやむをえないとは言ってくれましたが、案内するチューターの人数がもう少しいればできたこともあったでしょうし、何より日本に来たにもかかわらず、日本人の新しい友達とあまり交流する機会がなかったというのは、チューターとして横から見ていて気の毒でした。

改善策としては、マヒドン生の受け入れが8月中旬にあることをもっと早くアナウンスしていただきたいです。今年タイに行く学生に対するアナウンスは7月の下旬だったと記憶していますが、その頃までには帰省やバイトなど、九大生もそれぞれ予定を入れてしまっており、チューターをしたくてもできない人が多かったと思います。例えば、タイに行くプログラムの参加者を募集する時点で、日本で8月中旬に受け入れがあることをアナウンスいただければ、状況ははるかにましだったと思います。

2、大学によるプログラム

財政面で九州大学とマヒドン大学に差があることは承知していますが、それでもこのプログラムにかけている予算の差は大きすぎた気がします。例えば、フェアウェル・パーティーの待遇の差は大きかったです。九大では、箱崎の国際ホールの入り口に折り畳み式の机を並べて、若干のオードブルとスーパーで買ってきたスナックを食べるだけだったのに対し、マヒドン大では、大学内のホテルにおいて、プロのシェフが作った料理をいただく豪華さでした。マヒドン大では修了証を一人ずつ受け取る演出まであり、素晴らしかったです。こうした格差も、向こうの学生には正直申し訳なかったのではないかと思います。

- この二週間は、自分を見つめ直す良いきっかけになりました。マヒドンの学生には、いい刺激をたくさんもらいました。マヒドンの学生はみんな英語が上手で、私ももっと頑張らないといけないなと思いました。マヒドンの学生たちとの交流がなければ、この二週間がこんなに充実したものになることはなかっただろうと思います。本当に感謝しています。またタイに行きたいなと思える二週間になりました。
- このプログラムに参加して最も実感したことは、自分の英語力の無さと英語の必要さだ。このプログラムに参加してタイ語を学ぶのは新しい言語に触れることができ、また習ったことを現地で実践できるという点ですばらしいものである。しかし、英語はやはり重要であり、読み書きはできるのであるが、聞く話すことが自分が思っている以上にできないということを感じた。それと同時に英語を用いたコミュニケーション力を伸ばしたいと思い、それを達成するに留学することを本気で考えるようになった。このプログラムの内容に関しての要望は全くといっていいほどない。この費用でこれだけのことが体験でき、すばらしすぎるプログラムだと思う。タイの方々には本当にお世話になったので、来年日本にタイの学生が来るときに恩返しをしたいと思う。
- 私たちの研修をサポートしてくださった学生の中には日本語を話せる学生もいて、コミュニケーションをとるには全く問題はありませんでした。しかし、自分たちが英語を使う機会が減ってしまったことも事実であり、積極的に英語を使っていくべきだったと思いました。2回目のプレゼンテーションはタイ語で行うものでした。集中講義を含めて習得したタイ語のみでは、自分たちでタイ語の原稿を作成するのは非常に困難であり、結局タイ人の学生に原稿の大部分を翻訳してもらいました。タイ人の学生には負担が大きくなるので、私たちが習得したタイ語の表現をより多く用いることができる発表の形式にすることが良いと感じました。
- 全く知らない言語を学ぶことは、とても興味深くいい経験となった。また、このプログラムでは、タイと日本で相互のチューター制をとっていることで直接タイ人と話して仲良くなれた。タイの友達とタイ語で話すことを目標にもっとタイ語を勉強して、この関係をこれからも続けていきたい
- 自分は初めて海外に行ったが、語学について考えるきっかけになった。日本でいくら単語や文法を覚えていても実際に話せるかは別問題で勉強の仕方を改めて考えさせられた。また海外でのコミュニケーションのためには英語ができないといけないというのを強く感じ、今後一層勉強したいと感じさせてくれた。このプログラムを支えてくださる先生方や学生たちには本当に感謝している。タイはもちろん海外、特に東南アジアに興味を持っている人にはぜひ参加してほしい。注意事項としては、予定が毎日詰まっている中でプレゼンなどの準備がありとても忙しいので体調を崩さないように気を付けてほしい。また、3週間真剣に勉強したが最後のタイ語のプレゼンはタイの学生に手伝ってもらえばかりで申し訳なく、もっと早くから勉強したかったと感じた。
- タイの学生はとにかく英語がとても上手で、感心させられた。その反面、自分の英語力の無さを痛感させられた。あまりに英語力がなさ過ぎて言いたいことすら伝わらず、悔

しい思いをさせられたことも何度もあった。そのような経験から、今回の研修では、自分の英語力の無さと、英語の勉強をやらなければいけないという危機感を強く感じさせられた。

- ・寮においてインターネットが使える部屋が自分の部屋を含めて全体で2部屋しかなく、みんなが自分の部屋で集まってプレゼンを作ったりインターネットを利用したりしていました。それによって仲は深まったと思いますが、平等にインターネットが使えるればよかったなと思います。現地では、タイ語がほぼ全くわからなかったのも、市街地はおろか大学内でもほとんど個人行動することができず、マヒドン大の学生に助けってもらっていました。言葉が通じないとこんなに苦労するのかということが体験できたのは貴重な経験になったと思います。そんな中でも英語は少し通じたので、英語の偉大さも同時に感じました。
- ・タイ人に対して日本人が多すぎると思いました。私は当初もっとタイの人といろいろな話ができると思ったのですが、思ったよりスケジュールが忙しくチューターの人も忙しかったのでタイについて学生に聞けなかったのが残念に思います。しかしそのような問題は自分の積極性に関わると思うので、これからは積極性を大切にしていこうとこの研修で思いました。これからの自分がどのような進路に進むか考える機会になったと思います。
- ・清掃用具が不足していたこと。部屋に有ればうれしい。
また、せめて替えのシーツなどがあればさすがに2週間同じシーツなのはつらい。
Wifi がつながる部屋が極端に少なかったこと(2部屋)。
- ・私はこの研修を終えて得たものが大きく分けて2つあります。1つ目は、タイ人の友達ができただけです。2つ目は「英語の学習をもっと頑張ろう」という自分自身のモチベーションを上げることが出来たことです。自分は、読む、聞くはある程度できるけれど、話すことが出来なかったのも、もっと英語を話す機会を増やさなければならぬのだということが分かりました。その機会を増やすためにも、この研修でお世話になった分を恩返しするためにも、今後チューター等を積極的にやりたいと思います。大学生活における刺激となりました。この研修に参加出来て本当に幸せでした。ありがとうございました。
- ・非常に充実したプログラムで大変満足していますが、個人的にはもう少し日本人どうしが固まらない、つまり他の日本人に頼れない状況がもっとあった方が、個人個人がもっと能動的にタイ語を使い、より有意義になったのではないかと感じました。改善事項としては、日本人が日本人どうしで群れすぎだ、ということだと思います。